

アラン・ラッド

Alan Ladd

生年月日 1913/09/03

出身地 アメリカ／アーカンソー州

没年 1964/01/29

アラン・ラッド・J r (長男)

関連人物 ジョーダン・ラッド (孫)

デヴィッド・ラッド (次男)

【バイオグラフィ】

■本名はAlan Walbridge Ladd。家計を助けるために8歳頃から新聞売りを始める。元々病弱で体を鍛えるためにスポーツに専念。高校時代はダイビングの選手などで活躍し、大学から声が掛かるほどの成績を残したという。その後職を転々としていた時にユニヴァーサルにスカウトされスタジオ内の演劇学校に通うが半年で退学。ジャーナリストを志すが才能を悟り、再び演技を学びながら下積み生活を送る。やがて端役で映画出演した後「拳銃貸します」に出演。兵役を終えた頃には、甘いマスクと敏捷な立ち振る舞いが受けて名が知られるようになった。その後ワーナーと契約し、パラマウントで残りの契約を消化中の53年、「シェーン」に出演してこれが大ヒット。しかし、これが唯一の代表作となって以降は低迷。極度のアルコール依存症に陥った後の62年には拳銃による自殺未遂（発表は事故）を起こし、64年に薬物とアルコールの乱用によってパーム・スプリングスの別荘で死亡している所を発見された。精神的にとっても弱かったと言われている。結婚は2回で前妻との子供、アラン・ラッド・J rは後にプロデューサーからFOX、UA、MGMの社長を歴任した。

【フィルモグラフィ】

大いなる野望 (1964)	出演
西十三番街 (1961)	出演
地獄へ片足 (1960)	出演
戦う若者たち (1960)	出演
大爆破 (1960)	出演 : ジム・ハドリー
罨の中の男 (1959)	出演
誇り高き反逆者 (1958)	出演
悪人の土地 (1958)	出演
大荒原 (1957)	出演
島の女 (1957)	出演 : ジェームズ・カルダー
サンチャゴ (1955)	出演
地獄の埠頭 (1955)	出演
マッコーネル物語 (1955)	出演 : ジョセフ・C・マッコーネル
太鼓の響き (1954)	出演
男の城 (1954)	出演 : ジョン
サスカチワンの狼火 (1954)	出演 : トーマス・オローク
東方の雷鳴 (1953)	出演
零 (ゼロ) 下の地獄 (1953)	出演 : ダンカン・クレイグ
赤いベレー (1953)	出演 : カナダ
シェーン (1953)	出演 : シェーン

砂漠部隊 (1953)	出演
流刑の大陸 (1952)	出演 : ヒュー・タラント
血ぬられし欲情 (1952)	出演 : ジム・ボウイ
対決 (1951)	出演
赤い山 (1951)	出演
烙印 (1950)	出演
別働隊 (1950)	出演 : ウェブスター・ケリー大尉
恐喝の街 (1949)	出演 : エド・アダムス
暗黒街の巨頭 (1949)	出演
ネブラスカ魂 (1948)	出演 : ウィスパリング・スミス
栄光は消えず (1948)	出演
ハリウッド・アルバム (1947)	出演
サイゴン密輸空路 (1947)	出演
青い戦慄 (1946)	出演
最後の地獄船 (1946)	出演 : チャールズ・スチュワート
潜行決死隊 (1946)	出演
密輸空路 (1945)	出演 : ニール・ゴードン
ハリウッド宝船 (1945)	出演
傷だらけの勝利 (1945)	出演
愛のあけぼの (1944)	出演
暗黒街の顔役 (1942)	出演
拳銃貸します (1942)	出演
パリのジャンヌ・ダーク (1942)	出演
ガラスの鍵 (1942)	出演
リラクタント・ドラゴン (1941)	出演
海洋児 (1940)	出演